

ノ確保ニ邁進セウトシテアルガ現在ノ狀勢ニテハ合法性ノ確保コレハ單ニ表面上ノ問題ニ過ギナイ裏面ニ於テハ從來ト何等異ナル所ガナイガ爲ニ合法性ノ確保ハ到底困難デアツテ場合ニ依ツテハ、ヨリ一層非合法化スル虞レガアル。

何ントナレバ之等ノ者ハ全部黨農民部ノメンバーデアルガ爲メデアル。

一方全農第一主義ヲ標榜スル所謂合法派ニアツテハ西納（大阪）町田（長野）石田（福佐）青木（東京）ノ四名ガ衰微シ行ク全會ヲ慮リ全會ノ組織再建ヲ計劃シ變ニ在京ノ石田樹心方ニ於テ會合シ種々對策ニ付キ協議ヲ行フ一方之ガ具体案ニ付キ慎重考慮中デアツタガ最近ニ至リ大体ノ成案ヲ得タ。全會内部ノ思想動搖加フルニ總本部内部一部ノ倦怠、不平、不満ノ續出等々所謂客觀的情勢ノ變化ニ依ツテ更ニ拍車ヲ加ヘ極メテ有利ナ情勢ニ立チ至ツタガ爲ニ此ノ機逸ス可カラズトナレ之ガ具体案打合せノ爲メ九月十

六日在京ノ青木惠一來阪シ全國オルグ西納楠太郎ト會見種々對策ヲ協議シタ。青木、西納ノ意見ハ先ニ報告シタ通りデアルガソノ後青木其他ハ盛ニ暗中飛躍ヲ試ミテアル、合法派ハ總進モ合法性ヲ確保シ合法的手段ニ依ツテ全會（一部非合法派ヲ除ク）ノ指導權並ニ決定權ヲ自派ニ掌握セント企圖シテアル、尙ホ彼等ノ今後ノ動靜如何ニ依ツテハ非合法派ニ屬スル府縣聯（評）地區支部等ハ勿論總本部派ニ屬スル倦怠者、不平不満者並ニ地方單獨農民團體並ニ未組織農民ガ相當加入スルモノガアルヤウニ豫測セラレ今後ノ成行ハ最モ注目ニ價スルモノガアル。